



国際ロータリー2630地区

名張ロータリークラブ

2025～2026

○会長 小川 貴司
○会長 エレクト 藤 森 至
○副 会 長 宮 尾 保 範
○幹 事 坂 本 幸 嗣
○管理・親睦運営委員長 今 中 武 美
○広報・会報委員長 丹 下 剛 一

**UNITE
FOR
GOOD**

よいことの
ために
手を取りあおう

○例 会 場

名張市南町822-2 名張産業振興センター(アスピア)
TEL 0595-64-5353

○事 務 局

〒518-0729 名張市南町822-2
名張産業振興センター4F
TEL 0595-63-1338 FAX 0595-63-8163
月～木曜日 10時～15時(休憩12～13時)
E-mail nabarirc@e-net.or.jp

第 2837 回例会

12 月 15 日(月)12:30 点鐘

本日のプログラム

【総合司会】宮尾 保範 副会長

【ソング】週に一度の

【行事】クラブ協議会(上半期報告) 広報・会報委員会/組織強化委員会/支援プログラム委員会

【次回のお知らせ】

12/22(月)第2838回例会 クラブ協議会(上半期報告) 奉仕プロジェクト委員会/管理・親睦委員会

前例会の記録

第 2836 回例会

12 月 8 日(月)12:30 点鐘

○ゲスト

ガバナー補佐 増田 冬樹 様
名張モラロジ-代表世話人 荻田 和明 様

米山奨学生 劉 鑫 様

○ビジター

○出席報告

会員数 40 名 欠席人数 7 名

出席人数 33 名

出席免除者 2 名

事前ミーティング 1 名

出席率 89.47%

○11/17(月)の出席率

メイクアップの為 86.84% を
89.47% に訂正致します。

【会長の時間】小川会長

本日はゲストとして国際口・タリ・第 2630 地区 2025～26 年度中勢伊賀グル-ブガバナ-補佐の増田冬樹様をお迎えしての名張中央口・タリ・クラブとの 2 回目の合同例会です。又、メインイベントとして「名張モラロジ-事務所」の代表世話人であられます荻田和明様の「イノベーション(技術革新)による三方よし」と題しての卓話を予定しております。大変興味深いです。宜しくお願い致します。

昨日 7 日は二十四節気の「大雪」(たいせつ)でした。今年の富士山の初冠雪は最も遅かった去年よりは 15 日早い記録とのこと。日本海側や北海道からは雪の便りが届いています。今年は店の車も冬タイヤにほぼ履き替えました。もしかすると今年はホワイトクリスマスになるかもです。旬の魚を紹介すると何ととっても寒鰯(ぶり)でしょうか。脂の乗った鰯は絶品です。退会された前田先輩の故郷である富山県氷見は特に有名です。前田先輩の退会は本当に残念です。

さて、ロータリー・クラブは第一に会員有っての組織です。名張クラブの会員数は現在 40 名で直近 5 年以内に入会された会員がその内の 18 名です。平均年齢は期首の 7 月 1 日現在で 62.12 歳。最高齢が 85 歳、最年少が 41 歳と大変年齢幅が広がります。加えて入会して 5 年以内の会員が約半数近いという会員構成を考えますと、いかにして“手塩にかけて”在籍年数の浅い会員を育成するかが最重要課題と言えます。

今日はこの“手塩”について話します。“手塩”は元々は遡ること室町時代に膳を清める為の塩を盛った小皿「手塩皿」の略なんです。これが江戸時代になると食事の際に各自の膳の横に味を調整する為の塩が置かれるようになりました。そこから手間をかけたか面倒を見たりするという意味で“手塩にかける”という言葉が使われるようになったとのこと。小皿のことを「おてしょ」というのはここから来ています。子供の頃おばあさんが小皿が欲しい時に確かに『てしょ取って』と言うてました。

さて、“手塩”をもう少し掘り下げますと日本は漬物天国で北から南まで細長い日本列島のどの地方にもそれぞれの風土に育まれた特色のある漬物があります。元来は野菜類を長く保存する知恵として生まれた漬物は今や日本人の暮らしの中でなくてはならない一品です。好みもありますが最も普遍的で優れたものと言えば糠(ぬか)漬です。酵素や微生物の複雑な働きで米糠の成分は各種のアミノ酸や糖分に分解されて脂肪と共に独特のうまみを作り出します。これが野菜に沁みて野菜いわゆる糠漬の味になるのです。ところで糠漬ほど世話の掛かるものはなくて、毎日、朝に晩に糠床に手をつっ込んでかき回さんとアカンのです。糠味噌は何よりも酸素が好きで手に沁みる独特の匂いを厭わずかき回す、これこそが“手塩にかける”ことに他ならないんです。若い会員も手間を惜しまず“手塩にかけて”育てたいもんです。

会員は何ちゅうたかて、宝もんです。

以上、会長の時間でした。



【幹事報告】

お知らせ ・12月のロータリーレート 1ドル=156円 ・日赤三重県支部点訳奉仕団への資材贈呈について、津RCより11/1(土)中勢・伊賀グループIMにおいて目録の贈呈式を終え納品も完了したとの報告がありました。 ・理事会で承認されました、新入会候補者の橋本哲弥様の氏名発表をFAXしますので、よろしくお願いします。 ・年末年始休暇について、ガバナー事務所・地区大会事務所・地区事務所・ガバナーエレクト事務所は12/27(土)～1/7(水)です。名張ロータリークラブは12/26(金)～1/4(日)です。

他クラブ例会の変更 事務局にてご確認ください

その他 ・名張の美実行委員会よりクラウドファンディングの支援募集「名張市で美術を学ぶ高校生を応援したい」の案内が届きました。パンフレットは事務局で預かっています。

卓話 『名張モラロジー』代表世話人 萩田和明様

先ずは、モラロジーの紹介になりますが、法学博士 廣池九十郎が創立し来年100周年を迎える社会教育団体です。道徳で人と社会を幸せにをスローガンにし、感謝の心、思いやりの心、自立の心を育てる活動を取組んでいます。

そこで代表をしております私は、現在69歳で本業は各種産業機械の設計製作の井藤電機鉄工所勤務の3代目になります。今では特許取得数が60件もある、珍しい会社です。終戦後、祖父が名張に移住し旋盤一つで鉄工所を開業、その後の父の代に電気事業主任技術者3級免許を取得し「井藤電機鉄工所」に社名を変更。修理できない機械を新しく一から作ることを開始、せっかく苦労して作った物が他社にコピーされないよう防衛対策として特許の取得に至ったのが始まりでした。私自身は大学4年のゼミで教授から依頼され、放射能測定機を1台200万円するアメリカ製を手本に1年かけて自主製作し、性能も向上させた完成品を置き土産に卒業。その数年後に当時の教授から連絡をもらい、測定機の追加注文が10台、5台と入るようになり、1台100万円で販売することとなりました。振り返ってみて思いですが、「アメリカ製より安価で高性能」「月給以上の高収入」「測定データの共通化」「問屋の販路拡大」といった、4方良しの結果を生み出しました。



【ニコニコBOX】本日の合計金額 35,000円

○中間訪問でこれました 増田 AG

○名張中央ロータリークラブに増田ガバナー補佐を迎えた歓び。 ゲストスピーカー萩田和明様よろしくお願い致します。 小川会長
○合同例会を祝して 坂本幹事 三枝君 亀井君 中森君 中島君 浅津君 城山君 川口君 勝木君 藤森君 井上君 幸松君 宮尾君 奥中君 廣瀬君 森本君 廣野君 志浦君 三木君 山本君 伊集君 杉本君 丹下君 瓦井君 隠地君 脇坂君 玉田君 大薮君 小川君 岩見君 富永君



会員コラム 中島君

名張RCに入会し早くも29年が経ちました。入会当時のことを思い出すと、月曜日に来るたびに心が重苦しくなる42歳でした。懐かしい思い出です。さて、11月16日から18日まで近所の方々と沖縄へ行ってきました。私は沖縄へ何度か行っていますが、沖縄に『三重の塔』という三重県出身戦没者に哀悼の意をささげるための慰霊碑があり、県主催で一見知事も主催者として参加され、私どもも遺族として参加してきました。戦後80年たった今も世界ではかつてないほどの国々で争いが起こり尊い命が失われています。私たち遺族の使命として、我が国の若い世代に平和を伝えなければという決意を改めてしました。

